第二期 福井市子ども・子育て支援事業計画 取組状況 成果指標

基本理念

子どもすくすく おとないきいき みんなで育ちあうまちへ

施策の方向1 結婚や子育てに夢を持てる環境を整えます

結婚や子育てに関する負担や不安を払拭し、子どもを産み育てることに夢と希望を持てる施策を展開します。

基本施策1 結婚に向けた支援の充実

(女性活躍促進課)

指標名	策定時 (R1)	R 2	R 3	R 4	R 5	R6目標
結婚意識が明確になり、さらに結婚への意欲が高まった割合	96.2%	92.3%	92.0%	96.0%	92.4%	90.0% 以上

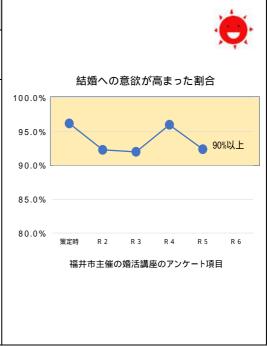
【成果と課題】

結婚意欲や婚活スキルを高める講座の開催により、「婚活に対して自信がついた」「結婚への意欲が高まった」とアンケートで回答した割合が、いずれも参加者の9割近くを占めており、 結婚に前向きになる意識の醸成が図られた。

また、婚活イベントでは、参加者113人の内、52人が連絡先の交換に至った。連絡先交換が成立しない人や成立しても交際に繋がらない人に対しては、縁活お助け人(仲人ボランティア)による結婚相談やお見合い相手の紹介を行い、成婚までの一貫した支援を行った。

さらに、10月から新婚世帯の新生活に伴う経済的負担を軽減する「結婚生活スタートアップ応援事業」を実施し、結婚を希望する若者を後押しするとともに、若い世代の結婚に対する機運醸成を図った。

今後も引き続き、出会いから交際、結婚に至るまで総合的に 結婚を支援していく。



基本施策2 安全な妊娠・出産の支援と負担の軽減

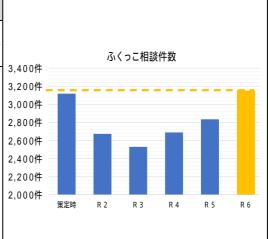
(こども家庭センター)

指標名	策定時 (R1)	R 2	R 3	R 4	R 5	R6目標
妊娠・子育てサポート センターふくっこ相談件 数()	3,118件	2,673件	2,529件	2,690件	2,834件	3,150件

【成果と課題】

令和5年度は、5月に新型コロナウイルスが5類へ移行し、 来所相談件数は前年より増加したものの、妊娠届出時の面 接件数が減少しており、目標を下回っている。

引き続き、安心して妊娠・出産・子育てができるよう、支援 が必要な母子を早期に把握し、専門職による相談体制の充 実を図ったうえで、保健・福祉・医療等の関係機関と連携し た切れ目ない支援を実施していく。



ふくっこ相談件数 = 妊娠届出時面接件数 + 来所相談件数

施策の方向2 子どもの健やかな育ちを守ります

すべての子ども一人一人がかけがえのない個性ある存在として認められ、健やかな育ちが等しく保障されるための仕 組みや環境を整備します。

基本施策3 子どもの健康の確保と増進

(こども家庭センター)

							(ここの別庭にファー)				
指標名	策定時 (R1)	R 2	R 3	R 4	R 5	R6目標					
乳幼児健診受診率(4 か月児健康診査)	97.0%	96.6%	96.6%	96.3%	96.6%	97.6%	乳幼児健診受診率				
乳幼児健診受診率(3 歳児健康診査)	96.7%	97.2%	96.2%	95.9%	96.5%	97.4%	97.5%				
【成果と課題】							97.0% 96.5%				
							96.0%				
							95.5%				
令和5年度は、5月日 昨年度より受診率は							95.0% 策定時 R2 R3 R4 R5 R6				
昨年度より受診率は上昇したが、目標値には達していない。 今後も引き続き、健診未受診者には通知や電話、園等を通じて受診勧奨していく。											
							乳幼児健診受診率(3歳児健康診査)				

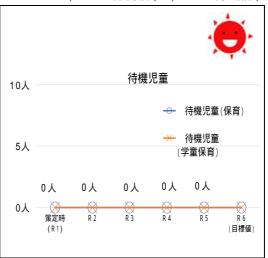
(こども保育課) (こども育成課)

指標名	策定時 (R1)	R 2	R 3	R 4	R 5	R6目標
待機児童(保育)	0人	0人	0人	0人	0人	0人
待機児童 (学童保育)	0人	0人	0人	0人	0人	0人

【成果と課題】

保育、学童保育ともに待機児童ゼロを維持している。 保育においては、待機児童が昨年度に引き続き0となった。 一方で、森田地区での就学前児童の増加が続いており、今 後の動向を注視する必要がある。

学童保育においては、一部の地域で利用希望者が増加しており、今後受入が困難となることも予想されるため、学校の余裕教室等を利用した児童クラブの整備や既存施設の改修等を進めていく。



(こども保育課)

指標名	策定時 (R1)	R 2	R 3	R 4	R 5	R6目標
公開保育の実施	12か所	10か所	15か所	22か所	26か所	30か所

【成果と課題】

保育者の資質向上のため、各園にあわせた規模で、いろいるな取組みや工夫を凝らしながら公開保育を実施したことで、子どもの育ちや学びを見とり、共に学び合える場や機会が少しづつ増えてきた。



公開保育

実際の保育現場を、県認定の幼児教育アドバイザーや 他の公私立園の保育者に公開し、意見や助言を受けること で、教育・保育の質の向上を図る。

(こども家庭センター)

指標名	策定時 (R1)	R 2	R 3	R 4	R 5	R6目標
要保護児童対策地域 協議会実務者運営会議 の開催回数	12回	11回	12回	12回	12回	12回

【成果と課題】

虐待や不適切な養育環境など、様々な問題を抱える児童やその家庭への支援について、児童相談所および福祉・保健・教育分野の実務担当者が連携を図るため、個別ケースの支援方針や役割分担などについて協議した。

また、会議にて情報を共有し、各分野からの意見・助言を 得て支援の方向性を検討することで、具体的な支援を実施 することができた。

今後も引き続き、会議の充実を図っていく。



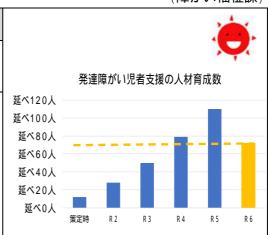
(障がい福祉課)

指標名	策定時 (R1)	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6 目標 ()
支援の向上を目的と した発達障がい児者支 援の人材育成数 (累計)	延べ12人	延べ28人	延べ50人	延べ79人	延べ110人	延べ72人 (延べ130人)

【成果と課題】

障がい福祉サービス事業者の職員等が発達障がいを理解し、特性に合った適切な相談や助言、サービスの提供が行えるよう研修を実施した。さらに、今年度から、新規に児童クラブ職員を対象とした基礎コースを開設した結果、多くの参加があり、目標値を大きく上回ることができた。

今後も本コースを継続して開催し、より多くの児童クラブ職員の発達障がいへの理解を深める機会を設けていく。



下段の()は計画目標値を達成したため、新たな目標値を定めたもの

(こども政策課 女性支援室)

指標名	策定時 (R1)	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6目標 ()
ひとり親家庭就業·自立支援センターにおける自立支援相談の認知度	23.6%	43.0%	49.3%	56.0%	62.8%	60%以上 (63.0%)

【成果と課題】

センター設置直後の令和元年度(本計画策定時)は認知度が低かったが、「ひとり親家庭のしおり」の作成・配布や電話・窓口での相談対応等を通じて認知度が向上し、目標としていた令和6年度よりも1年度早く、目標の60%を達成できた。

今後も、ひとり親家庭への手当支給手続き時にPRするなど周知を図り、支援につなげていく。



下段の () は計画目標値を達成したため、新たな目標値を定めたもの

基本施策6 教育環境等の充実

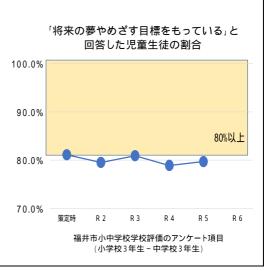
(学校教育課)

指標名	策定時 (R1)	R 2	R 3	R 4	R 5	R6目標
「将来の夢やめざす目標 をもっている」と回答した 児童生徒の割合	81.1%	79.5%	80.9%	78.9%	79.7%	80.0% 以上

【成果と課題】

地域や産業界の持つ教育資源を有効に活用してキャリア 教育を実施することができた。

今後は、キャリア教育プログラムの充実を図り、より多くの学校での活用を促す。



キャリア教育

一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てる教育。 本市では、平成24年から福井市キャリア連絡協議会を立ち上げ、経済団体と連携してキャリア教育の推進に取り組んでいる。

キャリア教育プログラム

学校の教科の学習内容と地域の企業の人づくり・ものづくりの技術を結び付けた教育プログラムで、企業の社員等を地域の教育支援者として学校に招き、教員と一緒に授業を行うもの。

基本施策7 安全・安心な生活環境の整備

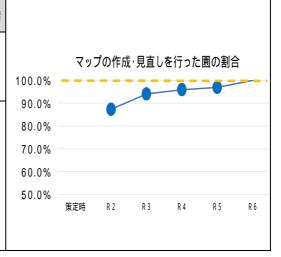
(こども保育課)

指標名	策定時 (R1)	R 2	R 3	R 4	R 5	R6目標
保育園・幼稚園・認定 こども園における安全 意識の向上に向けた「お 散歩安全マップ」の作 成・見直し		87.3%	94.0%	95.9%	96.9%	全園

【成果と課題】

子どもたちが安全にお散歩できるよう、お散歩安全マップの作成に取り組んでおり、目標の全園に年々近づいている。マップの作成や活用がないと回答した園については、作成を改めて依頼するとともに、作成済みの園に対しても、随時更新するようお願いした。

今後も引き続き、未作成の園に対しては、作成を求めてい く。



施策の方向3 保護者への子育て支援を充実します

子育てに対する負担の軽減や不安の解消を図るとともに、親としての成長を促すことで、保護者が子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じられる社会を実現します。

基本施策 8 子育て支援の充実

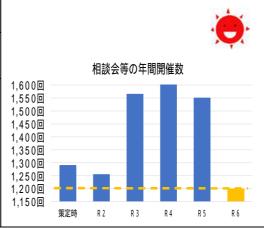
(こども政策課)

指標名	策定時 (R1)	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6 目標 ()
地域子育て支援セン ターでの相談会等の年 間開催数	1,291回	1,256回	1,566回	1,726回	1,551回	1,200回 (1,600回)

【成果と課題】

令和3年度と令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、1回あたりの人数を制限しながら開催数を増やしてきたが、令和5年度からは人数制限を廃止したことで、開催数は減らしたものの、より多くの人数の受け入れを行った。そのため、施設の延べ利用者数は、令和4年度は74,355人だったが、令和5年度は90,145人となり、15,790人増加した。

今後も講座や育児相談により、子育てに関する保護者の不安感 等の緩和につなげていく。



下段の()は計画目標値を達成したため、新たな目標値を定めたもの

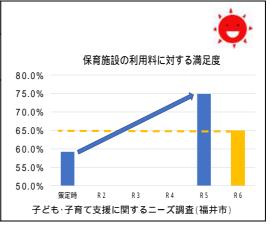
(こども保育課)

指標名	策定時 (R1)	R 2	R 3	R 4	R 5	R6目標
保育施設の利用料に 対する満足度	59.2%				74.9%	65.0%

【成果と課題】

令和元年10月から、3~5歳児(幼稚園、認定こども園における1号認定の満3歳児も含む)、0~2歳児の非課税世帯における保育園等の保育料を無償化している。

令和2年9月からは、第2子の保育料について世帯年収360万円未満相当世帯は無償、令和4年9月からは、640万円未満相当まで緩和して実施した。その結果、満足度は目標値の65%を超えることができた。



基本施策9 家庭における親意識の向上

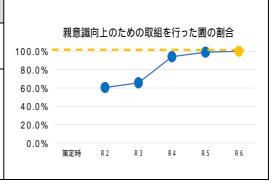
(こども保育課)

指標名	策定時 (R1)	R 2	R 3	R 4	R 5	R6目標
保育園・認定こども園 における親意識向上の ための取組		60.4%	65.6%	94.0%	99.0%	全園

【成果と課題】

おやこたいそうや親子で森遊び(ネイチャーゲーム)などの学習会等を実施し、親子がふれあう機会を充実させた。

また、公立園の取組事例を私立園に紹介してきたことで、私 立園にも取組が浸透している。



施策の方向4 社会全体で子どもの育ちを支えます

家庭、職域、地域におけるすべての市民と行政が子ども・子育て支援の重要性を認識し、各々が協働し、それぞれの役割を果たすための取組を展開します。

基本施策10 職域における支援体制の整備

(しごと支援課)

指標名	策定時 (R1)	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6目標
職場環境改善に関するセミナー参加企業数 (累計)	延べ37社	延べ46社	延べ77社	延べ104社	延べ135社	延べ200社

【成果と課題】

働きやすい就労環境を整備するため、「令和時代の魅力的な職場環境の構築と活用方法」というテーマでセミナーを 開催した。

31社が参加したが、より多くの企業に参加してもらうため、 経営者に関心のあるテーマを選択し継続していく必要がある。



(女性活躍促進課)

指標名	策定時 (R1)	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6 目標 ()
女性が働きやすい職 場環境整備に新たに取 り組む事業所数 (累計)	延べ19社	延べ34社	延べ44社	延べ60社	延べ63社	延べ50社 (延べ65社)

【成果と課題】

子育てファミリー応援企業の登録社数が目標値の延べ50 社を超え、より多くの企業に対し、男女共同参画や女性活躍 に関する意識改革を促すことができた。

今後も引き続き、意識啓発を行い、女性が働きやすい職場 環境整備を推進していく。



下段の()は計画目標値を達成したため、新たな目標値を定めたもの

(こども保育課)

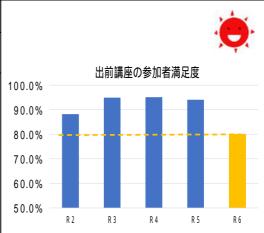
指標名	策定時 (R1)	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6 目標 ()
子育て·孫育て出前 講座の参加者満足度		88.2%	94.9%	95.1%	94.1%	80% (90%以上)

【成果と課題】

子育て支援センターや公民館等からの依頼に基づき、「子どものほめ方教室」や「断乳、離乳食のすすめ」などの講座を実施し、祖父母や親世代だけでなく様々な世代の子育ての参加を促したり、地域のニーズに応じた内容を企画した。

また、講座の後に個別相談を実施し、参加者のニーズに応じるなど、一人ひとり丁寧に対応することができたことで、高い満足度を得ている。

今後も引き続き、子育て相談や情報共有を始めとした講座等を 実施していく。



基本施策12 行政における推進体制の強化

(こども家庭センター) (こども政策課)

指標名	策定時 (R1)	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6目標
子育てについての相談 先が無い人の割合	2.5%				4.9%	1.0%
妊娠や出生時におけ る情報冊子配布率	100%	100%	100%	100%	100%	100%

【成果と課題】

子育て世代のライフスタイルの変化に合わせて、はぐくむbookやはぐくむ.net、ぱんだ通信(youtube)、母子健康手帳・子育て支援アプリ「ふくいくね!」など、多様な広報媒体を用いて情報を一元的に発信した。

引き続き、保護者が必要なときに適切な支援を受けられるよう、様々な子育て支援に関する情報を発信していく。

一方で、「子育てについて相談先が無い人の割合」が増え ているため、相談体制の強化が必要である。



【参考】令和5年度子ども・子育て支援に関するニーズ調査(福井市)

